

第5回 WMKO 世界マーシャルアーツ(武道) 空手道選手権大会

主催	W.M.K.O 世界マーシャルアーツ(武道)空手道連盟 総本部		
共催	一般社団法人 全日本硬式空手道連盟		
主管	国際 F.S.A 拳真館空手道連盟 総本部		
後援	世界 FSA 空手格闘技連盟		
開催日	2026年9月27日(日)		
時間	開場・受付	午前9時30分	
	開会式	午前10時30分	
	表彰	コート表彰式	
場所	国立代々木競技場第二体育館 〒150-0041 東京都渋谷区神南 2-1-1 TEL: 03-3468-1171 交通: JR 原宿駅下車徒歩5分		
カテゴリ	・フルコンタクト空手部門 ・硬式空手道部門 ・型部門(自由型) ※制限時間有り ・2ウェイシステム部門(フルコンタクト空手ルール・硬式空手ルール) 4人制トーナメント全員表彰 <u>2ウェイシステムの参加資格: 拳歴の浅い入賞経験(過去に3位・準優勝・優勝)のない選手が対象。2ウェイシステム大会での入賞実績は参加資格に関係ありませんので、過去の2ウェイシステム大会の入賞者も出場可能です。</u> ・ケイオス-MAX ジュニア部門(K-プロ面着用, 打撃ルール)		
表彰	フルコンタクト空手と硬式空手の優勝者には大トロフィー、準優勝者にはトロフィーを授与します。2ウェイシステムの優勝、準優勝者にはメダル、型の優勝、準優勝者には盾を授与します。全クラス賞状を授与します。 ※海外の選手が参加したクラスは例外として授与します。		
参加費用	フルコンタクト空手	¥7,000	
	硬式空手	¥7,000	
	型	¥5,000	
	2ウェイシステム	¥6,000	
	ケイオス-MAX ジュニア	¥6,000	
	ダブルエントリー(型+組手)	¥組手参加費+¥1,000	
注意事項	<ol style="list-style-type: none">① 選手は事前に健康診断を必ず受診してください(診断書提出不要)。② スポーツ保険に各自加入してください。(保険は4月での更新の場合が多いのでご注意ください)また、試合当日は万一のため健康保険証の持参をお勧めいたします。③ セcondは2名とし、正装にてお願いします。また、過激な応援はご遠慮下さい。④ 試合中負傷または事故が生じた場合、主催者は一切責任を負いません。⑤ 何らかの理由で参加不可能となった場合必ず大会事務局まで連絡してください。⑥ 大会事務局に納入した参加費はいかなる理由があろうとご返却出来ません。⑦ ゼッケンは大会当日、各団体一括でお渡しします。⑧ 審判員・スタッフには昼食を用意致します。選手は各自ご用意ください。⑨ 出場選手の肖像権は主催者に帰属します。各種報道機関等が取材する場合がありますが、映像や画像が放映、掲載される場合があることをご了承ください。⑩ 女子クラスの道着の下へのTシャツ着用は、白色のみ認めます。 男子クラスのTシャツ着用は、禁止となります。⑪ <u>試合開始時にファールカップがない場合は失格とします。大会側からの貸出は行ないませんので、忘れないようご注意ください。</u>⑫ <u>フルコンタクト空手女子クラスの防具で、胸部から腹部までを守るインナーベストの使用は禁止です。胸部のみを守るチェストガードをご使用ください。</u>⑬ <u>試合について選手セコンドその他の審判、主催者側への抗議クレームは一切受け付けません。万が一あった場合は、その選手は失格とします。又、団体自体の退場もあり得ます。</u>		

高田道場内締切: 2026年8月8日(土) ※申込書と参加費を、高田に提出してください

【申込書】

ふりがな

氏名 _____ 男・女 _____ 歳 小学・中学・高校()年・一般・シニア(40歳以上)

種目番号 _____ 種目名 _____ 身長 cm _____ 体重 kg _____ 級・段 _____

種目番号・種目名(抜粋)

★硬式空手道部門

31. 幼児男女混合	40. 高校生男子	49. 高校生女子
32. 小学1年生男子	41. 小学1年生女子	50. 一般女子 55kg 以下
33. 小学2年生男子	42. 小学2年生女子	51. 一般女子 55kg 超級
34. 小学3年生男子	43. 小学3年生女子	52. シニア女子 40 歳以上
35. 小学4年生男子	44. 小学4年生女子	53. 一般男子 60kg 以下
36. 小学5年生男子	45. 小学5年生女子	54. 一般男子 70kg 以下
37. 小学6年生男子	46. 小学6年生女子	55. 一般男子 70kg 超級
38. 中学1年生男子	47. 中学1年生女子	56. シニア男子 40 歳以上
39. 中学2～3年生男子	48. 中学2～3年生女子	57. シニア男子 50 歳以上

*参加人数によりクラスの統廃合、クラス別編成を行う場合があります。予めご了承ください。

★型部門

58. 小学1～2年生男女	61. 中学生男子	64. 一般女子
59. 小学3～4年生男女	62. 中学生女子	65. 一般男子
60. 小学5～6年生男女	63. マスターズ男女混合 (50 歳以上)	

*参加人数によりクラスの統廃合を行う場合があります。予めご了承ください。

★硬式空手2 ウェイシステム (硬式空手ルール・4人制トーナメント全員表彰)

*一社)全日本硬式空手道連盟ルール規定に準ずる。

出場資格: 未だ優勝、準優勝、3位入賞経験の無い選手が対象

(2ウェイシステムでの入賞経験や一回勝っただけでの優勝、準優勝、3位は除く)

89. 幼年男女混合 (硬式空手2ウェイシステム)	98. 高校男子 (硬式空手2ウェイシステム)
90. 小学1年男子 (硬式空手2ウェイシステム)	99. 小学1年女子 (硬式空手2ウェイシステム)
91. 小学2年男子 (硬式空手2ウェイシステム)	100. 小学2年女子 (硬式空手2ウェイシステム)
92. 小学3年男子 (硬式空手2ウェイシステム)	101. 小学3年女子 (硬式空手2ウェイシステム)
93. 小学4年男子 (硬式空手2ウェイシステム)	102. 小学4年女子 (硬式空手2ウェイシステム)
94. 小学5年男子 (硬式空手2ウェイシステム)	103. 小学5年女子 (硬式空手2ウェイシステム)
95. 小学6年男子 (硬式空手2ウェイシステム)	104. 小学6年女子 (硬式空手2ウェイシステム)
96. 中学1年男子 (硬式空手2ウェイシステム)	105. 中学女子 (硬式空手2ウェイシステム)
97. 中学2-3年男子 (硬式空手2ウェイシステム)	106. 高校女子 (硬式空手2ウェイシステム)

試合規約(抜粋)

【硬式空手ルール】(全日本硬式空手道連盟審判規定に準拠して行う)

<<注意事項>>

- ・防具の貸し出しはありません。参加者が各自持参してください。
- ・面: Kプロテクター、空手面、スーパーセーフのいずれか。類似品可。
- ・胴: Kプロテクター、スーパーセーフ(類似品可)
 - ※自身の体に合ったサイズを着用すること(全硬連規程サイズ)。
- ・拳サポーター: 全硬連指定の拳サポーター、または布製のもの。
- ・脚サポーター: 白で布製のものを着用すること。
- ・男子は必ずファールカップを着用すること。
- ・参加人数により、クラスの統廃合があります。

<<試合時間>>

クラス		時間	延長戦	試合
幼年の部	男女混合	1分30秒	延長戦まで1分 (決勝のみ再延長あり)	1本勝負
小学生・中学生	学年ごと男女別			
高校生				
一般	一般:有級及び有段(男女別) シニア:40歳以上(男女別)	2分	延長戦まで1分30秒 (決勝のみ再延長あり)	

※勝負は1本勝ち、または判定、或いは反則、失格等により決定します。

(勝負)

1. 勝負は1本、あるいは判定による勝ち、或いは反則、失格による負けによって決定する。
 2. ポイントにおいては、ポイントの多い方を勝ちとする(5ポイントの差が生じたときは、1本となり試合は終了とする)。
 3. 攻撃目標は、次のとおりとする。
 - (1) 安全防具面部(面部の顔面部及び顔面部から耳側部の部分)
 - (2) 安全防具胴部(胸部と腹部及び防具の側面)
- (1本及び技有りの判定基準)
1. 1本及び技有りの判定は次の各項による。
 2. 以下の場合は1本とする。
 - (1) 基本的な正しい姿勢、かつ充実した気迫と適正なる間合いで有効な威力ある突き、蹴り、打ち、当てが定められた部位(相手の顔面、中段胸部と腹部)に十分コントロールして当て、極め、相手のバランスを崩し、倒し、残心を示した場合。
 - (2) 3連続技が確実に極まった場合(3連続技とは相手に技有りを3本連取し、その間相手の技有りを挟まない場合)。
 - (3) 5ポイントの差が生じた場合。
 - (4) 打撃技のダメージにより体がふらついている場合。
 3. 技有りは、前項で決められた技で、1本に近い技である場合を技有りとする。この場合、上段の蹴り技は2ポイント、それ以外の技は1ポイントとする。
 4. また、相手が転倒した際(足払いに因らない転倒を含む)に、瞬間的に寸止めを極めた場合は、技有りとする。その際、完全屈圧した場合(相手が仰向けになった場合等)は2ポイント、それに準じる場合は1ポイントとする。
 5. 主審の「止め」の合図の後の技は一切認めない。但し、「止め」の合図と同時にかけた有効な技は認める。
 6. 試合者双方が場外に出た時かけた技は無効とする。但し、攻撃した者が瞬間内にあり、主審の「止め」の合図の前にかけた有効な技は認める。
 7. 次の場合は十分であっても1本と認めない。
 - ・相手をつかんだ時(空手衣・安全防具)

(優劣の判定基準)

1. 試合時間内に1本、技有り、反則、失格負けの無い時は監査役、主審、副審が協議のうえ、次の各項により総合的に優劣を判定する。
2. 技有りに近い技の有無
3. 反則注意の有無
4. 逃避の有無
5. 試合態度の優劣
6. 技術の優劣
7. 気迫戦意の度合

8. 攻撃、手数の多少
9. 戦術の優劣(禁止事項)
 1. 禁止される技は次のとおりとする。
 2. 安全防具以外の部位への直接加撃
 3. 股間部への加撃(金的)
 4. 背面への直接加撃
 5. 転倒者への直接加撃
 6. 下肢への蹴り技(足底での足払い可、足甲での蹴りは不可)
 7. 投げ技(但し、相手を掴まずに崩すことは可)
 8. バックハンド
 9. 関節技
 10. 頭部への膝蹴り
 11. 手や腕で相手の頭を引き寄せての加撃
 12. 開手技(中学生以下の場合)
 13. 禁止される行為
 - (1) 極端な場外逃避、時間を空費するための行為
 - (2) 掴んだり組み付いたり、或いは暴力的な体当たり
 - (3) 罵倒、挑発的言動、相手の人格を無視するような言動、態度
 - (4) 技を決めた後、故意に試合場内を逃げ回ること
 - (5) 無防備(反則等)

1. 禁止事項を犯そうとしたり、又は犯したときは主審により反則注意を宣せられる。反則注意後、更に注意されるような事を犯すと反則負けとなる。
2. 軽微な反則については最初「警告」とし、その後反則をした場合「反則注意」の宣言を受け相手方に技有り(1ポイント)を与える。但し、反則行為が明らかに計画的で執拗を極めた場合は相手方に反則勝ちを与える。
3. 場外は1度目から場外の宣告をし、相手方に技有り(1ポイント)を与える。場外とは、片足1足がコートラインから外に出た場合を言う。
4. 次の場合は、直ちに失格を宣せられ負けとなる。この場合、監査役、主審、副審協議により、審判長の決裁を受け、以後の試合の出場停止をさせられる事もある。
 - (1) 空手道の権威を失墜する行為があった時
 - (2) 試合中審判の指示に従わぬ時
 - (3) 極端に興奮し、試合続行上有害と認められた時
 - (4) 禁止事項を故意に無視する悪質な行為と認められた時
 - (5) その他、この審判規定に定めた事項に違反していると認められた時

【型ルール】※一社)全日本硬式空手道連盟ルール規定に準ずる

※子達は時間制限あり

一回戦～準々決勝1分まで、準決勝・決勝は時間無制限

①正確さ(手の振り・目付き・下半身のふらつきなど) ②気合・気迫③優美さ④緩急⑤難易度 の5項目から判定をする。判定は審判3名による旗判定とする。

※試合形式はトーナメント方式で行う。※創作型は禁止、茶髪・金髪は禁止、必ず清潔な空手着を着用してください。